

成果指標				
成果指標	1件当たりの医療費助成額＝年間扶助費÷医療費助成対象件数			
指標設定の考え方	1件当たりの医療助成額を指標とし、母子家庭の経済的負担の軽減の成果を測る。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目 標	3190	2805	0	0
実 績	2852	2980	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	2	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	平成26年度から、助成対象を父子家庭にも拡大することとなった。給付されるべき医療費が給付されないことがないよう、対象となるひとり親家庭の方に対し、届出を行っていただけるよう制度の周知を徹底するとともに、適正な運用をするためシステム改修等の対応をしていかなければならない。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	制度に対する市民の関心や理解を深めるために制度の周知徹底を図ると共に、市民の立場に立ち、分かりやすく丁寧な対応を心がける必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・必要な事業である。・平成26年度からは、対象になったのに知らない人も出る可能性もある。あらゆる手段で目立つように、父子家庭に周知徹底いただきたい。工夫している市町もあると思う。そういうアイデアを取り入れて、温かい手が差し伸べられるような工夫をしていただきたい。・活動内容にもまだ空欄がある。助成対象人数も記載すると良い。・ひとり親家庭の医療費の助成に係る条例と、乳幼児及び児童医療費の助成に関する条例が別々に必要なのか。保険年金課固有の問題ではないし、実情も分かるのだが、シンプルイズビューティフルの路線で考えておいていただきたい。</p>
---------------------------	--

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>現状のまま継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	